

一般質問通告書

宗像市議会議長 様

宗像市議会議員（14）番 北崎 正則

以下のとおり通告します。

発言順	3	受領日時	令和3年5月12日 16時45分
項目1	宗像の教育の充実を図るために		
テロップ	宗像の教育の充実を図るために		
<p>今、教育現場では、団塊世代の退職に伴い若年教師の割合が増えており、ある意味では職場に若いエネルギーがあふれているといえる。しかし、特別支援学級の急増や教員の育児休業など様々な要因が重なり、ここ数年、正規教員や育休代替などの非正規教員が不足している実態がある。特に今年度の教員不足は、本市の教育を充実させていく上で大きな弊害になってきていると考える。</p> <p>そこで、教員不足について、以下のとおり伺う。</p> <p>(1) 今年度の本市の現状とその対応は。</p> <p>(2) 今後予想される教員不足に対して、どのような手立てが考えられるか。</p>			
項目2	宗像の小中一貫教育は大丈夫なのか		
テロップ	小中一貫教育は大丈夫なのか		
<p>本市が平成18年度（2006年度）に小中一貫教育を導入して15年が経過した。また、子どもたちの健やかな成長のため、いわゆる中1ギャップや小1プロブレムの解消などに取り組んできた。しかし、子どもたちを取り巻く環境、特に新型コロナウイルス感染症の影響により生活環境は大きく変化しており、教育の在り方について改めて見直さなければならないと考える。</p> <p>そこで、小中一貫教育等について、以下のとおり伺う。</p> <p>(1) 本市における小中一貫教育の進捗状況と課題は。</p> <p>(2) 本市における不登校児童・生徒の実態とその対応は。</p> <p>(3) 小1プロブレムの解消のための保・幼・小連携の進捗状況と課題は。</p>			
項目3	洋上風力発電設置による漁業への影響は part 2		
テロップ	洋上風力発電の漁業への影響は		
<p>令和元年9月の定例会で、北九州市白島沖にある洋上風力発電について、漁業者の操業弊害になるのではないかと危惧し一般質問を行ったが、北九州市では現在も洋上風力関連産業の集積を目指して様々な事業が進められている。</p> <p>また、これとは別に、本年4月には福岡県総合政策課エネルギー政策室が、関係団体に対して再エネ海域利用法の概要と県の取組に関する説明会を開催しており、本市の漁業に及ぼす影響についてさらなる懸念が生じている。</p> <p>そこで、洋上風力発電について、以下のとおり伺う。</p> <p>(1) 県の取組について、市はその概要と今後の方向性を把握しているか。</p> <p>(2) 市として漁業者に対する影響をどのように考え、どのように対応するのか。</p>			

※通告書の文字は明朝体11pt、概ね1枚を目安としてください。